

# まちなみ通信 No.57



## ～ 令和5年度修理事業 ① ～

建吉：雪も降ってほんまに寒い日が続くのう。

伝太郎：本当にそうですね。外に出ると風も冷たいですが、散歩していると大和町でまた、建物の修理が終わった家がありましたよ。

建吉：おう。修理が終わったけえ、また東町のまちなみがよくなったんじゃ。この建物はのう、今回の修理で外観を昔の姿に戻して、建物自体の構造補強もしたんじゃ。正面をまるごとやりかえたけえ、宮島の町家らしい姿になったじゃろう。



修理前

修理後

伝太郎：そうですね。通りに面した表側も格子ですっきりしていますし、窓際の二階の手すりも宮島らしくいい感じですね。

建吉：ほうじゃろう。一階の格子は平格子つちゅう形なんじゃが、繊細な細い縦の線が強調されることですっきりして見えるんじゃ。二階は前面に張り出しとった痕跡が見つかったけえ、道路側に張り出して、元のかたちに戻したんじゃ。

伝太郎：へえ。そうなんですね。

建吉：二階の窓は最初は雨戸でその後ガラス戸になったらしゅうて、二階の縁側も濡れ縁で手すりがあるかたち

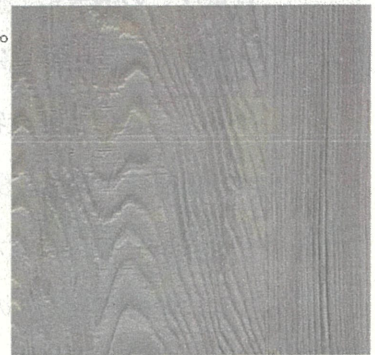


二階の手すりとガラス窓

じゃったんじゃ。この手すりは巖島神社の手すりとおなじ造りでのう、通りから見てもよう映えて宮島の町家らしいじゃろう。

伝太郎：そうですね。

建吉：一階の入口や二階の掃き出し窓の腰板もよう見て欲しいんじゃ。これは「浮造り」つちゅうて、古くから建物の外壁や塀に



浮造り (うづくり)

使われてきた加工の一つなんじゃ。

木の木目にゃあ柔らかい部分と堅い部分があつてのう、柔らかい部分は春から夏に育った部分で夏目、秋から冬に育った部分は堅とうてこの部分を冬目つちゅうんじゃ。この木目にブラシをかけて、堅い冬目を残しながら柔らかい夏目をブラシで削ることで木目の凹凸が強調されるんじゃ。こうすることで木目が際立って、表情が豊かになるんじゃ。

伝太郎：そう言われると、木目が際立って見えますね。

建吉：ほうじゃろう。それにのう、家の根まわりにも島の石をこだわって入れたんじゃ。

伝太郎：へえ。そうなんですね。最近はコンクリートでつくることも多いと思うんですが、昔は違つたんですか。

建吉：宮島では昔は基礎を石でつくるのが普通じゃったんじゃ。じゃけえ、今回の修理でも、通



宮島の石を用いている様子

りに面した前面の根まわりには宮島の石を使うとるんじゃ。(②3月号に続く)

## 【町家に親しむ会からのお知らせ】



### 雛めぐりと伝統的建造物<sup>いつもや</sup>蔵妹屋の一般公開

みやじまの町家に親しむ会では、宮島の伝統的建造物をより多くの方に知っていただき、理解を深めることを目的に、桃の節句にあわせて、伝統的建造物の蔵妹屋で雛人形を飾り、会員が建物などをご案内します。宮島の伝統的建造物は個人の方が所有される建物が多いため、内部を見学できる機会がなかなかありません。

貴重なこの機会に、実際に伝統的建造物を活用されている蔵妹屋の内部を見学してみませんか。

併せて、伝統的建造物をお持ちの方を対象として建物の修理の相談もお受けします。

初めて訪れてもなぜか懐かしいそんな宮島の神棚がある蔵妹屋の町家で春の訪れを感じてみませんか。

開催時間中は随時、説明や相談の受付を行います。

予約は不要、入場及び参加費は無料です。

お気軽にお立ち寄りください。

日時 令和6年3月3日(日) 11:00~16:00

場所 蔵妹屋(宮島町580)



蔵妹屋

### 町家に親しむ会に参加してみませんか。

伝統的建造物であることを示す「表示板」が設置されている建物は伝統的建造物の特定物件です。表示板が設置されている建造物にお住まいの方は、より伝建のことを知ることができる「みやじまの町家に親しむ会」に参加してみませんか。身近な建物のこと、まちの歴史などを知るためにも、興味をお持ちの方は会に繋がりますのでまず市役所に電話でご連絡ください。

開催日 毎月第2木曜日

場所 etto 宮島交流館など



問い合わせ 宮島企画調整課宮島まちづくり推進係 Tel(0829)30-9119